



発行所
 太平山頂上鎮座
 太平山三吉神社総本宮
 宮司 田村 泰教
 秋田市広面字赤沼3の2
 電話 (018) 834-3443
 F A X (018) 834-3444
<http://www.miyoshi.or.jp>



太平山頂上ご来光

宮司 田村 泰教

今、世間を震撼させているトクリウユウ（匿名・流動型犯罪グループ）。特殊詐欺に加え、ひと昔前には考えもつかない残忍な事件が各地で起きています。▽日本は、今も国際的に見て、殺人などの重大犯罪の発生率は低く、人口当たりの犯罪率も主要先進国の中では低い水準にあると言います。▽しかし、多種多様な詐欺や耳を疑うような凶悪事件に触れる機会が増え、「日本は世界一安全で、重大な犯罪は起きない」という安全神話が、大きく揺らいでいることは間違いない。▽地域コミュニティの関係性が薄れ、経済的な不安感も高まり、モラル意識も残念ながら低下。そして、ネットやスマホの普及による新種の犯罪や来日者によるトラブルなど、要因は実に多岐にわたっており、容易に解決できる妙案はない。▽時代の変化と厳しい現実を直視しつつ、まずは、それぞれが自分たちができる範囲で、しっかりと防衛策を講じていくことが求められる時代を迎えている。▽その上で、これ以上、お互いが疑心暗鬼となり、ギスギスとした生き辛い世の中とならないように。一人ひとりの心のありようが問われているように思う。▽『目に見えぬ神にむかひてはぢざるは、人の心のまことなりけり』（明治天皇御製）子どもたちが、大らかに、生き生きと育つ日本であって欲しいと、心から願う。

◆地元シリーズ

神社参拝とSNS

太平山三吉神社責任役員

古屋 義和



最近、多くの方から「テレビは見ない」「S

NSで必要な情報を得る」というお話を聞きます。若い世代だけでなく、我々の年代もそういう方が多くなったように感じます。見聞きした情報を鵜呑みにするのではなく、自ら選択し咀嚼物あるいは偽物を見破る能力が高くなっているということでしょうか。喜ばしいことだと思います。また、個人がSNS等を利用して自分の考えを発信できる。我々の世代からすれば、なんと素晴らしい時代になったことかと思えます。私は縁あって、当社の責任

役員を仰せつかっていることから神社への参拝の機会も増えました。また、ここ数年は、妻と御朱印をいただきながら各地の神社に参拝することも多くなり、参拝の作法も学びました。また、その内容も「ただひたすらお願い」することから、「〇〇をしたいので、神様どうかご覧になってください」というものに変わりました。これが『祓詞』にある「掛けまくも畏き」罪穢あらむをば 祓へ給ひ」云々という言葉に繋がり、人が神様にお参りするときの心の持ちよう、あるべき姿を表わすものであることを認識しました。

さて、初めに書いた最近のSNSと神社への参拝につい



ハワイ出雲大社にて (当社の御朱印帳と)

て感じたことです。SNSの利用は、自ら分析理解する能力を高めたうえで、責任が伴います。神社への参拝もそうです。人の営みには、いくら気を付けても過ちはあり得ます。そのことをお祓ください、お清めくださいと神様にお願いします。つまり、責任をもって自ら動くことを前提としています。SNSも日本の伝統的行動様式である神社参拝も、まずはそれぞれが責



当社奥宮にて



下鴨神社

任をもって主体的に動くことが基本であると思えます。日本人は二千六百年以上も前から、このような行動様式で、伝統、文化、歴史を築いてきたということでしょう。日本人として誇りに思います。

言挙げ 92

山について

権禰宜 長田祖治



実家の
ある富山
県南砺市
は秋田県
秋田市よ

り距離にして約五五〇キロのところにあります。車で大体八〜九時間ほどかかる道中には多くの山々があります。まずは八乙女山を背に実家を出発し、高速道路の北陸道を進むと正面に立山が広がって見えます。連峰を横に見ながらしばらく北上を続け、新潟県へ入ると春日山を通り抜けて進みます。上越では横には妙高山、さらに奥には長野県の黒姫山や戸隠の山々もあります。しばらく進み、山形県に入ると出羽三山・鳥海山が、そして秋田県へ入り、太平山が見えてきた所で自宅に到着します。

の山々について過去の人々も感じた思いを歌や詩、文章として残しています。大伴家持は「立山の賦」の中で神様が鎮まる自然豊かな美しい山として立山を讃え、津村信夫は『戸隠の絵本』で詩「戸かくし姫」や散文で戸隠山周辺で生活する人々の信仰や考えを記しています。太平山については菅江真澄が『月廻遠呂智泥（つきのおろちね）』の中で山中の名所や神社について絵図とともに書き残しています。

現在においては多くの登山道が整備され、昔より気軽に登山できるようになり、SNSが普及したことで誰でも文章だけではなく、画像・動画として世界に発信することが可能となりました。素晴らしい自然の景色や共に登った人達との楽しげな様子などを非

常に多く見かけます。

太平山においても山頂などでそのような光景をよく見かけました。現在は山頂の奥宮・参籠所も閉所していることからその景色を見ることは難しいですが、朝日が昇り、太陽の光に照らされた社殿の美しさ。日本海に夕日が沈んでいく時の男鹿半島から秋田市にかけて鮮やかな夕日の色に包まれている様子。夜空には無数の星が一面に輝いて見えます。自然が作り出す素晴らしい光景を目にした時、登山者に交じって私自身も思わず写真を撮ってしまいま



山頂からの景色

す。これらの景色は毎日見ても飽きることはないものでした。

令和五年の豪雨以降、山頂の奥宮・参籠所は閉所しており、入山に關しても多くの登山者が利用していた旭又口からの入山はできない状況が続いておられます。たくさんの人々に親しまれ信仰されてきた太平山でまた多くの人々が安全に登山できるようになり、奥宮で親しく参拝いただくこと、山中の豊かな自然に触れてもらうこと、山頂からの壮大な景色を楽しんでもらうことなどが早く訪れることを切に望みます。



太平山山中の滝

〜復旧までの道のりは遠く〜

太平山現状報告

令和五年七月の記録的な豪雨により、太平山の林道・登山道は壊滅的な被害を受け、以来当社の信仰の源である山頂奥宮は開所がかなわず、登山も困難な状況が続いております。当社にも崇敬者や県内外の登山愛好家からお問い合わせを頂いておりますので、誌面に現状と今後の見通しについてご報告いたします。

工事等の現況

秋田森林管理署様のご尽力により、仁別国民の森までの林道工事が完了しております。
※但し、工事車両の通行や安全面から、一般車両は、今夏も通行できません。

太平山頂上奥宮・参籠所(山小屋)について

登山者の九割が利用する主要登山道である旭又コー스가利用できない状況にあり、今夏も山頂の奥宮・参籠所は開設できません。

協力会有志等のご奉仕を頂き、臨時開山祭を斎行すると共に、山頂施設の開放・点検作業を行う予定です。
※奥宮の神札をご希望の方は、里宮にご連絡願います。

その他の登山道について

【野田口】

古く表登山道であった野田口も豪雨被害がありましたが、協力会有志のご尽力により、昨年からは、鳥居右側から迂回して通行できるようになりました。
但し、途中、沢を四度ほど渡る必要がございますので、上級者以外の登山は困難な状況です。(特に増水時は危険です)

【前岳口】

太平山スキー場オーパス(もしくはザブーン)から入る、前岳からの縦走コースは、所々困難な場所もございますが、登山可能な状況です。

但し、山頂までは距離もあり、上級者向けとなります。(山ヒルの被害が多く報告されておりますので、十分ご注意ください)

【丸舞口】

昨年度より、崩壊した橋の復旧工事が開始されております。

工事の見通しについて

令和九年度中に、仁別国民の森から旭又登山口までの林道工事が完了される見込みです。

また、登山道の各橋の復旧工事につきましては、全く目途が立っていない状況です。

神社の取組みについて

完全復旧まで、未だ見通しが立たず、相当の年数を要する大変厳しい状況にございますが、霊峰太平山の永い信仰や歴史・伝統を途絶えさせることがないように。そして、秋田市シンボルである太平山が、再び多くの登山者で賑わうように。

とりあえず、旭又口まで林道が開通した後を見据えて、協力会のご助勢のもと、各登山道の整備に当たるとともに、関係各機関様のお力を頂きながら、資金面での協力も視野に入れ、今後も努力を続けて参ります。
何卒、引続きご理解とご協力のほど、切にお願い申し上げます。

(宮司 田村泰教)



5月23日作業



6月6日作業



奉納者ご芳名

一、高額ご芳志

北上石灰株式会社

代表取締役

多田 祥茂 殿

一、祭典装束(斎服・浄衣)

本庄 泰孝 殿

みよしスケッチ



春季例大祭
(五月七日・八日)



協力会作業
(四月十八日)



協力会総会
(四月十八日)



まるごと秋田博2026
(五月十日)



前岳冬囲い撤去作業
(四月二十七日)



秋田東中学校職場体験
(五月十七・十八日)



札幌三吉神社例大祭
(五月十五日)

令和8年 下半期主な神事予定

10月1日(木)	午前10時	印章供養祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人形感謝祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事 (人形は9月20日よりお預かりします)
10月16日(金)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	神様の御加護と自然の恵みに感謝する例大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(土)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
11月23日(月)	午前9時	新嘗祭	五穀の収穫に感謝する祭事
12月初旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札・お守りをお祓いする神事
12月13日(日)	午前10時	煤払い式	新年を清々しく迎えるために、境内建物のすすを払う恒例行事
12月31日(木)	午後2時	師走の大祓式	1年の罪・穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための神事

※毎月8日・17日は月次祭（午前10時）がございます。
 ※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



秋季例大祭



煤払い式



師走の大祓式

第41回

太平山写生会

令和8年7月11日(土)午前8時30分開始(雨天開催)

主催 太平山写生会実行委員会
後援 太平山三吉神社総本宮
参加申込 当日若しくは事前応募 (7/1~7/10)
参加対象 幼児、小・中学生、保護者
写生対象 太平山及び神社建物、境内からの風景など
様式 水彩、クレヨン、パステルなど自由
審査 市内小・中学校の先生
表彰式 8月22日(土)午前9時
 於：太平山三吉神社齋館
 入賞者に賞状と副賞を授与

皆様のご参加をお待ちしております！

協賛予定 秋田魁新報社・秋田中央郵便局・
 NTT東日本(株)秋田支店・秋田銀行秋田東中央支店・
 北都銀行秋田東支店・秋田信用金庫広面支店・
 秋田県信用組合東支店・株式会社マルシン・
 一ノ関時計店・花のヤマト・株式会社べんてる・
 有限会社木曾塗装・汎山書道教室(順不同)

展示予定 秋田中央郵便局・秋田銀行秋田東中央支店・
 秋田信用金庫広面支店・北都銀行秋田東支店・
 秋田県信用組合東支店

